

指導教員名	村上友章
-------	------

活動区分	地域活性化型	連携先	自治体・国
			学校(教育機関)

～ 和歌山県由良町地域課題解決型事業活動プランコンテスト ～

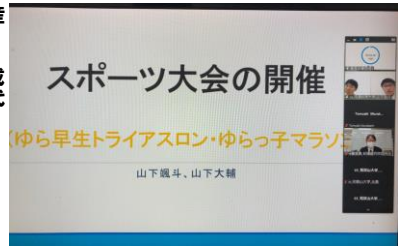
活動の様子



最終プレゼンの様子

取り組む課題

本コンテストは、A:由良町の旅館の宿泊客を増やす、B:由良町の海産物の売上高を増やす、の2種類のテーマをもとに進められました。本学のチームはAのテーマをもとに『スポーツ大会の開催』プランを提案。4名全員で由良町全域においてフィールドワークを実施し、その成果をもとにプランの検討を重ねました。最終的には、2名がチームを代表して、具体的な内容や収益見込みなどについて発表を行いました。



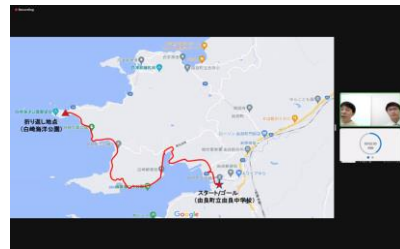
最終プレゼンの様子

企画・活動概要

経済学部・公務員特別演習Ⅲ(2年生後期)を受講中の学生4名が、「和歌山県由良町地域課題解決型事業活動プランコンテスト」に参加しました。このコンテストは、由良町と和歌山大学紀伊半島価値共創機関Kii-Plusが共同で開催しているもので、人口減少とさらなる高齢化が進行するなか、安定した雇用創出・地域経済の活性化が大きな課題となっている同町が、若い学生のアイデアを広く募集し、課題解決につなげていくことを目的とするものでした。4名の学生は一次審査を通過し、2月5日(土)に行われた最終プレゼン審査会で、代表2名がプランを発表しました。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

本コンテストへの参加を通じて、学生が成長した点、身に付けた点は2つあります。
第一に、コミュニケーションスキルの向上です。グループワークやフィールドワーク、そして他大学学生とのプレゼン・コンテスト等を通じて、コロナ禍にもかかわらず他者との濃密な対話を重ねることで、コミュニケーションスキルは格段に向上したと思われまます。その中には自分自身の弱点を把握できたという成果も含まれます。
第二に、地域の現状を深く学ぶことができたということです。特にフィールドワークにおいて地域の現状を見聞きし、それをベースにアイデアを練り上げた経験は貴重な「ガクチカ」となりました。



最終プレゼンの様子

経緯・背景・目的

経済学部・公務員試験特別演習Ⅲは本学の公務員試験対策プログラムの一環として1年次後期から4年次前期まで連続して開講されているもので、受講生は公務員を目指しています。本演習では狭義の試験対策のみならず、面接対策や現職公務員による講義等を通じてリアルな公務員像や仕事内容を深く学び各目のモチベーションを高めるようなプログラムも提供しています。2年次後期に開講される特別演習Ⅲでは社会共創活動に参加することを授業の中心に据え、面接試験時に必要とされる「ガクチカ」の経験を積み、コミュニケーションスキルを向上させることを目的としています。

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>



経済学部
経済学科
准教授
村上友章 (ムラカミトモアキ)

<専門・担当科目等>
公務員特別演習Ⅲ

<関係者・企業等>

和歌山県由良町、和歌山大学紀伊半島価値共創機関Kii-Plus